

KOFU21

Chartered 1990
甲府21ワイズメンズクラブ

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21



2026年4月7日(火) 発行

編集長 野々垣和宏

〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7
山梨Y M C A グローバルコミュニティセンター

☎055-235-8543 fax055-235-8553 Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	エドワード・オン(シンガポール)	「信念、愛、行動」 (Faith, Love, Action)
アジア太平洋地域会長	田上 正(熊本むさし)	「信念と愛を持って行動しよう!」 (Act now with faith and love!)
東日本区理事	山下 真(十勝)	「ワイズのらしさ再発見」 (Rediscovering Y's Uniqueness)
あずさ部部长	山口 直樹 (東京武蔵野多摩)	「垣根を低くし、活発な活動を」
甲府21クラブ会長	水越 正高	「35周年で育む会員の絆と、青少年の未来を創るクラブへ」 (Connecting the Next Generation)

甲府21ワイズメンズクラブ

2026年 4月会報

今月の強調テーマ

Week 4 Waste
RBM

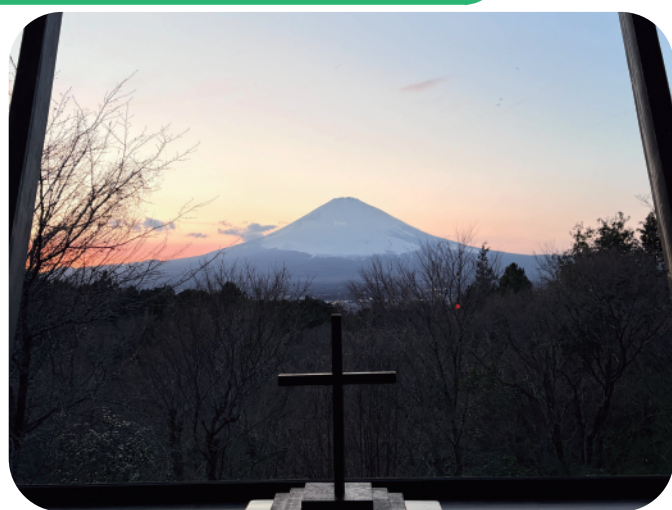
今月の
の
聖句

「父よ、彼らがすべて一つとなるようにしてください。(ヨハネ 17:21)」

選：清藤城宏

YMCA の理念であるこの言葉のように、私たちも一つのチームとして、互いを高め合いながら歩んでいきましょう。共に仕え、共に生きるこの活動が、豊かな実りとなりますように。

4月 巻頭言



「結束の力で、実りある一か月へ」

甲府 21 ワイズメンズクラブ 会長 水越正高

春の訪れとともに、新しい流れを感じる季節となりました。暖かな陽ざしの中で、私たちの活動もまた後半戦へと歩みを進めております。

今年度も折り返しを過ぎ、ここからはいよいよ甲府 21 クラブとしての集大成に向けた大切な時期に入ります。3月から4月にかけては、これから控える大きな事業に向けた準備を進める、非常に重要な期間となりました。

4月にはベビーカーコンサート、そして5月には記念旅行とYMCA チャリティーランと、続けて大

きな行事が予定されています。これらはいずれも、私たちが一年を通して積み重ねてきた活動の成果を形にする場であり、同時に、青少年の成長や地域とのつながりを深める大切な機会でもあります。

これらの事業を成功へと導くためには、何よりも会員同士の結束が不可欠です。それぞれが役割を担いながらも、互いに声を掛け合い、支え合いながら進めていくことが、結果として大きな力となります。今年度これまでの活動の中で育まれてきた関係性は、まさにこの時期にこそ発揮されるものだと感じています。

青少年育成という私たちの大きな目的は、一つひとつの体験の積み重ねによって形づくられていきます。イベントの規模や結果だけでなく、その過程の中で生まれる関わりや学びこそが、子どもたちの未来につながっていくのではないのでしょうか。その意味でも、これから迎える事業は、私たちにとって大変重要な機会であるといえます。

4月は、その準備を整え、次へとつなげるための「実りある月」となります。忙しさの中にも前向きな空気を大切にしながら、一つひとつの取り組みに向き合っていきたいと思います。

ここからが本当の意味での後半戦です。ぜひ皆さまの力を結集し、「一緒にやりきる」という気持ちを大切に、この大切な時期を乗り越えていきましょう。

3月 第1例会報告

書記 佐藤 利之

日時 2026年3月3日(火) 18:30~
会場 山梨YMCA

今回は山梨いのちの電話の永井理事長をお招きしての例会でした。いのちの電話の現状、活動についてお話いただき、孤独や不安、自殺念慮を抱える人に対し、無料で電話相談を提供し続けている活動に感銘を受けました。傾聴と対話を大事にしていく姿勢は社会生活の中で改めて重要な事と学ばせていただきました。

次期会長の荻野ワイズより次年度の活動方針の発表もありました。

【Let's all be friends みんなで友達になろう】と主題を掲げていただき時代の移り変わりがある中で持続可能で意義があり、何よりワイズが楽しんで活動できるような方針説明で来期も楽しみです。

ベビーカーコンサート、チャリティーラン、記念旅行とイベント盛りだくさんの4、5月の打ち合わせも行いました。

4月 第1例会プログラム

- 2025年4月7日(火) 18:30~
会場：山梨YMCA 3階大澤英二記念ホール
- 司会 輿水順雄ワイズ 水越会長
1. 開会点鐘
 2. ワイズソング・ワイズの信条
奏楽 杉田博子ワイズ
 3. 今月の聖句 清藤城宏(代読)
 4. 会員ひと言
 5. 会長挨拶 水越会長
 6. ハッピーバースデー
 7. ワイズディナー
 8. 連絡事項
 - 8-1 ベビーカーコンサート 4/11について
 - 8-2 各イベント出席者確認
・あずさ評議会 ・ライジングディスク ・記念旅行
 - 8-3 チャリティーランについて
 - 8-4 今後の例会予定
4/21 第2例会 5/12 第1例会
 9. YMCA報告・諸報告
 10. YMCAの歌 奏楽 杉田博子ワイズ
 11. 閉会点鐘 水越会長

寄附型自動販売機の利用を!



先月お越し戴いた山梨いのちの電話 永井理事長を応援しましょう。YMCAで喉が渴いたら、是非このピンクの自販機でお求めくださいね。

ボランティア相談員が電話で悩みに寄り添うNPO法人「山梨いのちの電話」(甲府市)の活動を支援する寄付型自動販売

山梨YMCA 玄関風除室横

機が、山梨県内2カ所に設置された。飲料の売り上げの一部が、運営費として同法人に寄付される。自販機が設置されたのは、山梨YMCA(甲府市)と日下部記念病院(山梨市)の各建物前。白とピンクが基調のデザインで、法人名とともに、相談電話の番号や、「ひとりで悩まずお電話ください」のメッセージなどが記されている。

3月会計報告

会計 山口了

【会計報告】

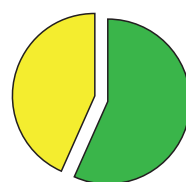
2026年 3月末現在



項目	ニコニコ	バザー	トータル
目標値	250,000	100,000	350,000
3月の合計	25,528	0	25,528
2月末迄累計	208,647	100,000	308,647
達成率	83.5%	100%	88.2%

*目標達成には、4月、5月、6月で41,353円以上となります。

<3月例会出席者 3/3>



56.8%

会員数 44名
第一例会出席者 25名
ゲスト出席者 名
メネット 名
総出席者数 名
出席率(会員のみ) 56.8%

ペンリレー

「マルシェから生まれるコミュニティ」

清水 公一

近年、各地でクラフトマルシェやハンドメイドイベントが開催され、多くの人々に親しまれています。私もクラフトの企画を長年にわたり携わる中で、地域の商業施設や道の駅などを会場としてクラフトマルシェを開催し、手作り作品の魅力を多くの方々に届ける活動を行っています。

会場に並ぶ作品は、アクセサリーや布小物、木工品、陶芸、ワークショップなど実にさまざまです。どの作品にも共通しているのは、作り手が素材選びから制作、仕上げに至るまで心を込めて生み出しているということです。手作り作品は「趣味の作品」として語られることもあります。実際には長い時間をかけて培われた技術や感性によって生まれた、まさに一点ものの価値をもつものばかりです。価格では評価できないお宝ばかりです。

クラフトマルシェの魅力は、作品を手取るだけでなく、作り手と直接言葉をかわせることにもあります。作品に込められた思いや制作の背景を聞くことで、使う人の愛着もより深いものになります。こうした交流は、人と人とのつながりを生み、地域に温かなコミュニティを育てるきっかけにもなっています。

また、商業施設や道の駅で開催することにより、地域を訪れた方々に新たな楽しみを提供するとともに、地域のにぎわいづくりにもつながっています。

手作りの文化を広く紹介する場として、クラフトマルシェは地域と人を結ぶ小さな架け橋の役割を果たしていると感じています。

これからも私たちは、手作り作品の素晴らしさを伝えるとともに、人と人との出会いや交流を生み出す場も設け、いつでも作品に出会

えるクラフトマルシェを続けていきたいと思っています。作品を通じて広がる温かなつながりが、地域や社会を少しずつ豊かにしていくことを願っています。

今は、自分の「楽しい」を探している最中です。小さな楽しみでも積み重ねていけたらいいなと思っています。おすすめの趣味があれば、ぜひ教えてください！



日本 YMCA 同盟総主事交替



中道基夫牧師（日本 YMCA 同盟理事、神戸 YMCA 理事長）の司式による聖書引継 2026.3.20
（写真左＝田口努総主事、写真右＝太田直宏新総主事）

太田直宏新総主事プロフィール

- 1960 年生まれ
- 1984 年 関西学院大学法学部卒業
株式会社オービック入社
- 1986 年 神戸 YMCA 入職 予備校、野外・健康教育、地域活動ほか担当
- 1991 年 岡山 YMCA へ出向 野外・健康教育を担当
- 1995 年 岡山 YMCA へ移籍（阪神・淡路大震災の影響で）
- 2005 年 岡山 YMCA 第 4 代総主事に就任
- 2013 年 岡山 YMCA が「公益財団法人 YMCA せとうち」となり、代表理事に就任
- 2026 年 第 17 代日本 YMCA 同盟総主事に就任

ブリテン委員長より

代悲白頭翁 ～白頭を悲しむ翁に代わる
唐・劉希夷（りゅうきい）

らくよう じょうとう とうり はな
洛陽 城東 桃李の花
と きた と さ
飛び来り飛び去りて
た いえ お
誰が家にか落つる

こじん らくじょう ひがし
古人 洛城の東に
かえ な
復る無く
こんじん ま たい
今人 還た対す
らっか かせ
落花の風

ねんねんさいさい はなあい
年年歳歳 花相似たり
さいさいねんねん ひとおな
歳歳年年 人同じからず

こ おきな はくとう まこと あわ
此の翁 白頭 真に憐れむべし
こ むかし こうがん びしょうねん
伊れ昔 紅顔の美少年

ブリテン委員長野々垣和宏です。

今日は、中国の詩人・劉希夷（りゅうきい）の漢詩を、わかりやすくご紹介します。

この詩は、「花は毎年同じように咲くけれど、人は同じではいられない」ということを教えてくれます。

春になると、洛陽の町には桃やすももの花が美しく咲きます。花びらは風に舞い、どこから来て、どこへ行くのかもわからないまま散っていきます。

それを見た若い人は、「今年は美しいけれど、来年はどうだろう」とため息をつきます。

そして詩は、こう続きます。

「毎年、花は同じように咲く。しかし、人は年ごとに変わっていく」と。

かつて若く美しかった人も、やがて年を取り、病に倒れ、昔のようにはいられなくなります。

にぎやかだった場所も、やがて静まり、夕暮れには鳥の声だけが残ります。

この詩は少し寂しい内容ですが、大切なことを教えてくれます。

それは、「今この瞬間は二度と戻らない」ということです。

だからこそ、今の自分、今の仲間、今の仕事を大切にしたいと思います。

新入社員の皆さんにとっては、今日の一日一日がすべて初めての経験です。

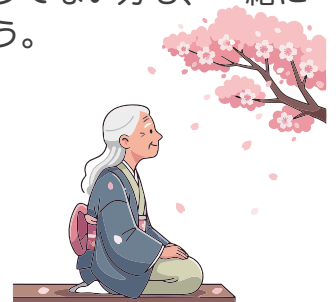
そして、私たちもまた、同じ日は二度とありません。

花のように毎年同じではなく、人は変わっていきます。

だからこそ、今できることに一生懸命取り組むことが大切です。

今日という一日を大事に、前向きに頑張ってください。

新入社員の方も、そうでない方も、一緒に成長していきましょう。



大人な徘徊 第10話

スペイン2 (2019年8月28日～9月10日)



葉袋 勝



日	徘徊場所	宿泊地
28-31	羽田、マドリード、トレド セゴビア、カンポデプンタ	マドリード
1	マドリード、コルドバ	コルドバ
2-3	コルドバ、ロンダ	ロンダ
4	ロンダ、アルヘンシラス	アルヘンシラス
5	タリファ、タンジェ	タンジェ
6-8	タンジェ、タリファ、マラガ	マラガ
9	マラガ、パリ	機内
10	成田	

2回目のスペイン徘徊訪問です。前回見落とした地域とアンダルシア地方を回る徘徊計画でした。セゴビアで見られた、長大な水道橋はローマ帝国時代に作られたもので、ローマの影響がここまで来ていることが実感されました。アンダルシアの中心都市、イスラム文化の残るコルドバを手始めにアルタミラ洞窟絵画と並んで有名なロンダに近いピレタ洞窟、地中海と大西洋を結ぶジブラルタル海峡と対岸にあるアフリカ・モロッコのタンジェまで国際海峡横断フェリーを利用して徘徊の足を延ばして来ました。前回の徘徊で歩きすぎて疲れたため、各地に有る乗り降り自由の2階建て観光バスやタクシー、フェリー及び現地ガイドを使った徘徊でした。ポルトガルやスペインの海岸のレストランでは、魚介類のアッサード(炭焼き)料理と地元産のワインをお勧めします。

アフリカ大陸上陸は、以前行ったエジプトへの観光旅行に次いで2回目です。あと、オーストラリア大陸と南極大陸が残っていますが、無理でしょう・・・!?
歩行数：191,138 / 13,653 歩
歩行距離：117.5 / 8.4Km



水道橋 (セゴビア)



メスキータ (コルドバ・スペイン)



ジブラルタル海峡越しに霞んで見えるスペイン (タンジェ・モロッコ)

今後の予定

4月11日(土曜日) ベビーカーコンサート

開場: 午前10時半
 開演: 午前11時(約50分)
 会場: 山梨YMCA GCC3階
 大澤英二記念ホール ベテル

4月18日(土) 第2回あずさ部評議会
 会場: 高尾の森わくわくビレッジ《研修室1》
 TEL: 042-652-0911 八王子市市川町55
 登録費: 500円
 評議会: 13:30~17:00(予定)
 登録開始: 13:00~

4月21日(火) 第2例会 18時半

4月25日(土) 富士五湖フライングディスク大会
 場所: 富士吉田市パインズパーク芝生広場
 富士吉田市上吉田5329-2
 参加費: 1000円(弁当・飲み物代)

5月12日(火) 第1例会 18時半

5月23日(土) チャリティーラン

◆YMCA便り◆

「愛をもって心から尊敬しなさい。
 互いに平和に過ごしなさい」

総主事 中田 純子

陽光あたたかな希望の季節を迎え、本日より2026年度が幕を開けました。本年度、山梨YMCAが活動の指針として掲げる聖句は、テサロニケの信徒への手紙一5章13節にある「愛をもって心から尊敬しなさい。互いに平和に過ごしなさい。」です。

この聖句は、私たちが共に歩む上での極めて大切な姿勢を示しています。現代社会において「平和」を実現するためには、単に対立を避けるだけでなく、一歩踏み込んで相手を「愛をもって心から尊敬する」ことが不可欠です。相手の存在を尊び、その背景にある思いに耳を傾ける。その積み重ねこそが、真の平和を築く礎となると信じています。

山梨YMCAは本年度、この聖句を胸に、子どもからユース、そして地域の方々が互いを認め合い、安心して集える「居場所」としての役割をさらに深めてまいります。特に、未来を担う若者たちが、自分とは異なる価値観を持つ他者を尊敬し、共に平和を創り出す「チェンジ・エージェント」へと成長できるよう、体験の場を広げていく所存です。

ワイズメンズクラブの皆様とのパートナーシップは、まさにこの聖句を体現するものです。長きにわたり、YMCAの働きを我事として支え、献身的に奉仕される皆様のお姿に、私たちは深い尊敬の念を抱いております。本年度も、皆様と共に汗を流し、対話を重ねる中で、この山梨の地に豊かな平和の種をまき続けていきたいと願っております。

新しい年度の始まりにあたり、この聖句を日々の指針とし、皆様と共に豊かな実りを目指して一歩ずつ歩んでまいります。この一年が皆様にとりまして、神様の豊かな祝福と平安に満ちたものとなりますようお祈り申し上げます。年度初めのご挨拶とさせていただきます。

Happy Birthday!

<4月の誕生者>

<敬称略>

<メ>

萩原 桂子 4/1 原 孝一朗 4/3
 武井 教子 4/17

<メット>

浅川 久子 4/29 (浅川貴明夫人)

